

福祉事業団体利用拡大キャンペーン ～各地区労福協の取組み結果報告について～

「福祉事業団体利用拡大キャンペーン」について、中国労金とこくみん共済 coop の推進項目の各地区労福協での取組み結果は下記のとおりとなりました。

各地区労福協の皆さんにおかれましては、キャンペーン目標達成に向けての取組みと「家計の見直し」セミナーの開催を実施していただき、ありがとうございました。未達成項目につきましては、地区労福協と労金部会・労済部会との連携を一層深め、引き続き福祉事業団体の利用拡大の取組みをお願いします。



「家計の見直し」セミナーの様子

中国労金

(件)

推進項目	地区名	安来	松江	雲南	出雲	大田	江津	邑智	浜田	益田	隠岐	合計
他社ローン借換目標 (有担保・無担保・マイプラン)		31	53	12	42	10	5	2	8	7	4	174
12月末実績		4	27	5	10	1	2	1	3	4	2	59
達成率(%)		12.9	50.9	41.7	23.8	10.0	40.0	50.0	37.5	57.1	50.0	33.9
エース預金・財形貯蓄新規目標		67	75	39	188	47	15	10	20	29	9	499
12月末実績		15	81	29	87	14	10	10	17	42	6	311
達成率(%)		22.4	108.0	74.4	46.3	29.8	66.7	100.0	85.0	144.8	66.7	62.3

こくみん共済 coop

(件)

推進項目	地区名	安来	松江	雲南	出雲	大田	江津	邑智	浜田	益田	隠岐	合計
マイカー共済見積目標		28	58	30	41	19	18	12	19	33	11	269
12月末実績		41	30	36	29	13	3	6	11	19	6	194
達成率(%)		146.4	51.7	120.0	70.7	68.4	16.7	50.0	57.9	57.6	54.5	72.1
住みいる共済見積・アンケート		11	34	11	21	7	7	5	9	10	9	124
12月末実績		1	20	8	12	12	0	2	4	4	4	67
達成率(%)		9.1	58.8	72.7	57.1	171.4	0.0	40.0	44.4	40.0	44.4	54.0

島根県労福協 2025年度臨時総会（書面決議）を開催

島根県労福協では、2026年2月27日に連合島根、雲南地区労福協、中国労働金庫の組織事情による役員欠員を補うため臨時総会を開催しました。役員選出規程では第3条（選任）の2項に「2 理事候補者及び監事候補者がそれぞれの定数以内の場合は選挙を省略できる」旨定められており、今臨時総会での選任にあたっては同規程を充足していることから、会員による選挙を省略し書面決議として行い議案は全会員同意のもと承認されました。

尚、任期は前任者の残存任期である2027年6月の定期総会までとなります。

〔新選任役員の皆様（敬称略）〕

役員名	会員名	氏名	会員役職
理事	連合島根	小早川佑美	副会長
理事	連合島根	黒目 敏行	事務局長
理事	雲南地区労福協	永海 正幸	会長
監事	連合島根	山中 秀作	副事務局長
監事	連合島根	三島 皆美	JAM 山陰・書記長
監事	中国労金	畠中 迪子	松江支店次長

〔退任された役員の皆様（敬称略）〕

成相 善朗 副理事長（連合島根）
 岸本 武士 理事（連合島根）
 荒木 陽史 理事（雲南地区）
 青木 政史 監事（連合島根）
 前田 陽生 監事（連合島根）
 山根 友美 監事（中国労金）

～長い間お世話になりました。～

西部労福協「第56回定期総会」開催

西部労福協は2月19日、山口市「山口グランドホテル」で第56回定期総会が開催されました。

定期総会では、西部労福協森本会長および中央労福協佐保事務局長を始めに来賓の方々の挨拶を受けた後議事に入りました。

2025年度活動報告では、西部労福協の独自活動として21世紀社会に対応しうる新しい労働者福祉運動の構築に向けて「第10期労働者自主福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座」や「持続可能な社会」をテーマとした第43回研究集会を開催された事、中央労福協を中心

【2026年度の活動の基調】

1. 協同事業、労働者福祉運動の基盤強化
2. 社会的連帯を深める運動と政策の実現
3. 暮らしの総合支援（ライフサポート）の推進
4. 各種会議の機能的運営・研修活動の充実
5. アフターコロナに対応した「社会づくり・仕組みづくり」

<議案>

第1号議案 2025年度活動報告

第2号議案 2025年度決算報告・会計監査報告

第3号議案 2026年度活動方針（案）

第4号議案 2026年度予算（案）

第5号議案 規約の一部改正について（案）

第6号議案 役員改選について（案）

とした全国的な取組みとして「2025全国福祉強化キャンペーン」に各県が独自色を出しながら参加した事、共助拡大の取組みとして労金運動・労済運動推進の取組んだことが報告されました。また2026年度の活動方針として、労福協の基本理念である「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会」の実現をめざした取組みが提案され、全ての議案において質問・意見はなく全会一致で承認されました。また2026年・27年度の西部労福協会長に伊藤山口県会長が新会長として選任されました。

総会終了後、記念講演として、山口大学国際文化学部准教授 今村主税様より「気候危機とライフスタイルを考える」として講演がありました。



「島根県への政策制度・要請」 回答を受理

昨年11月18日、島根県に対し「2026年度政策・制度要請」を実施し7項目を要請しました。

（要請項目）1.「労働者福祉運動の育成・強化」について 2. 中高年齢者及び女性の就労支援事業の継続について 3. 大規模災害等の被災者支援と復興・再生および防災・減災対策の強化 4. 持続可能な社会づくりに向けた協同組合の育成・支援 5. 格差の是正、貧困のない社会に向けたセーフティネットの強化 6. 消費者政策の充実強化 7. 安心、信頼できる社会保障の構築

それに対し2026年1月23日に回答を受理しました。回答内容については、島根県労福協ホームページの活動報告に掲載していますのでご覧ください。

2025年くらしサポートセンターの相談件数について

くらしサポートセンターに2025年中に寄せられた相談件数は、労働相談 280件、生活相談 264件、合計 544件となり、2024年に比べ全体で24件増加しました。

2025年度の特徴として労働相談ではパワハラなどの「差別等」、生活相談では「家族・親戚関係」など職場内

や家族内での問題の相談が多くありました。今後も引き続き寄り添い型で皆さんの悩みごとを解決するための相談機関としての役割を果たさなければなりません。

以下、労福協HP掲載の2025年の取組み集計より主な項目の件数を掲載します。

労働相談

(件)

相談項目	2025年計	2024年計
労働契約	5	1
差別等	17	15
賃金	3	4
雇用	5	9
安全衛生	5	1
その他・再相談	245	164
合計	280	194

生活相談

(件)

相談項目	2025年計	2024年計
家族・親戚関係	16	13
相続・遺言	4	11
消費者金融・多重債務	6	5
離婚	2	1
環境上の問題	1	2
その他	235	294
合計	264	326



2025年度NPO寄付システム寄付金を贈呈



鳥根県のNPO中間支援団体である“ふるさと鳥根定住財団”主催の「2025年度中国ろうきんNPO寄付システム」の寄付金贈呈式が、2月27日（金）にスティックビルにおいて開催されました。

今年度も様々な分野から45団体からの応募があり、厳正な審査の結果、38団体に計219万円の寄付金が贈呈されました。

今年度の贈呈式は、24団体が出席し、開会挨拶に続いて仲田本部長から目録の贈呈後、各団体からの紹介スピーチなどが行われました。

2026年度も例年と同様に100名を目標に新規契約者拡大に取り組むと考えています。

各地区労福協及び関係団体のより多くの方々のご理解とご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。

2025年度のNPO寄付システム贈呈団体は、次のとおりです。

団体名	所在地	団体名	所在地
しんじ湖スポーツクラブ	松江市	出雲市空き家相談センター	出雲市
水の都プロジェクト協議会	松江市	里の恵み山溪会	出雲市
おやこ劇場松江センター	松江市	しまね子ども支援プロジェクト	出雲市
日本寧夏友好交流協会	松江市	ボイスプラス	出雲市
しまねベトナム同志会	松江市	ディオッサスポーツクラブ	出雲市
スペース	松江市	さざんか	大田市
まちづくりネットワーク島根	松江市	かわい	大田市
島根糖尿病支援機構	松江市	久手未来会議	大田市
フードバンクしまねあったか元気便	松江市	文化のタネ	大田市
重吉伸一サムライ道場	松江市	どんぐり	大田市
むぎくさ	松江市	石見の家	江津市
中村元記念館東洋思想文化研究所	松江市	浜田おやこ劇場	浜田市
リーガルネットワークしまね	松江市	浜田自立支援センターウェルチャーム	浜田市
さくら総合スポーツクラブ	安来市	よつばキッズスクール	益田市
やわらぎ	雲南市	石西防災研究所	益田市
アズイット出雲	出雲市	防災支援センター	益田市
美身伝心	出雲市	益田市・町おこしの会	益田市
しまね体験活動支援センター	出雲市	ミライノタネ	津和野町
かえる倶楽部	出雲市	隠岐しぜんむら	海士町

2025年度第2回島根県産別推進会議開催報告

こくみん共済 NEWS
coop

こくみん共済 coop 島根推進本部
(島根県労働者共済生活協同組合)

2025年12月17日（水）に、労働会館401号室にて2025年度第2回島根県産別推進会議を開催しました。

島根県産別推進会議の2025年度計画では「貯蓄性商品の推進」が取り組みの柱のひとつであり、必要に応じてセミナーを開催することとしていたことから、第2回会議では専門家の講師（FPユニオンLabo：吉上氏）を招いて講演いただきました。

「退職前からの準備が大事！今から考えるセカンドライフセミナー」の題名で、「公的保障制度」「税金の話」「資産形成」について詳しく解説いただき、退職後に限らずすべての世代で金融資産と健康が大切であることを様々なデータを用いて分かりやすく説明いただきました。

とりわけ、資産形成のテーマでは、退職間際でもできることとして、一時払い終身生命について紹介されていました。また、メインテーマにあるように、できることなら退職のずっと前からコツコツと積み立てや投資を続けることが効果的であり、こくみん共済 coop の団体年金共済や産別ごとの年金制度、労働金庫のiDeCoやNISAなどの各種金融商品についても有効に活用できる点を強調されていました。

セカンドライフセミナーと銘打ちつつも、全世代に共通して考えるべき講演内容であり、現役の組合員にもお伝えできる部分が非常に多かったこともあって、参加者の方からも「学びになった」「組合員にもこのテーマを投げかけてみたい」といった声をいただいています。

2025年度は島根県労福協や中国労働金庫と一緒に「家計の見直し運動」を展開しています。組合員の生活向上に役立つセミナーの開催にこの運動でも取り組んでいますので、一人でも多くの組合員に有益な情報が届けられるよう、こくみん共済 coop の諸活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



島根県労福協から「フードバンク活動へのご協力のお願い」 4/29 島根県中央メーデーでお米の支援を!!

松江市内29小中学校の就学支援世帯に食料支援を行っている「フードバンクしまねあったか元気便」では、2024年来の米不足の影響で、支援のお米がたりません。お米のご支援をお願いします。

4月29日（水）の中央メーデーでの下記の場所で支援を受け付けます。

- ①島根県中央メーデー会場（くにびきメッセ） 9：30～島根県中央メーデー終了まで。
- ②島根県県庁前 8：00～行進出発まで

※お米は、玄米・精米・無洗米いずれもOKです。1合から受け付けます。量は問いません。
※募金も受付します。

